

「平等」というのは、社会の中で当たり前のように使われている概念ですが、人によって意味するものが違っている、あるいはあいまいな理解である、といったことが考えられます。そこで、このセミナーは、平等について考えるための、ひとつの指針を身につけることを目的とします。具体的には、「形式的平等」と「実質的平等」という理念を取り上げ、両者の正当性や適切な使い分けを考えた後、事例問題の検討を通じて、学んだことの定着を図ります。事例問題は、参加者が身近に感じることのできる、現実の社会で起こっているケースを用います。セミナーは、アクティブラーニングを念頭に置いたグループワーク形式で行ないます。各グループには大学生が加わり、内容を解説するとともにグループワークをファシリテイトしますので、質問や意見があればどんどん発言して下さい。大学生を交えた参加者どうしの活発な議論が展開されることが期待されます。このセミナーで身につけた平等についての考え方は、日常生活における身近な「きまり」はもちろん、法律のように広く社会生活を規律する「ルール」を考察の対象とする際にも、有力な「知的道具」となることでしょう。